

# 教育の手段である

## “叱つて”その後

柳原小学校 宮川幸子

### 序

兎角叱り方が云々される近ごろ、私の叱り方、児童への注意の仕方を反省したいが為にこの問題を選択した。

“叱る、ということ

語源は、声をあらげて、戒しめる、ことで、怒るに通じ、気にさわることがあつて興奮する、立腹することである。とか、

私達は何の為に叱つたり、ほめたり、するのか、その結果は？児童の云う叱りの範囲は、どの程度のもなのか、見なおしてみる必要がある。

私達は児童を、社会の道徳的規制に適応させようとするが為に、児童の生活に批判を加え、更には、叱責する場合が生ずるのである。

私達は児童のある行為が善であるか悪であるかを賞讃や叱責 許容によつて児童に快、不快を経験させそれを習慣化しよう、あくせく日夜勤めているわけである。

何も学校ばかりが人間形成をする場ではない。家庭も社会も勿論その任がある。故に、広範囲に児童への影響を主として、注意の与え方、叱り方をアンケートしながら逸話記録をもとに書きまとめ、将来の自己反省の資料にしたい。

なお、児童達はこつうこうのことをすると、どんな結果になるだろうと相談的に話しかけられた以外、即ち、起きた事象を目の前に指摘しながらこつしてはいけませんよと、結果から先に云われる時叱られたと云つている。叱るを本来の意をはずして児童本意に解釈す。

### 目次

#### 序

叱られる内容とその受け取り方

アンケートを元にして

不満を持つ叱られ方

後まで楽しい叱られ方

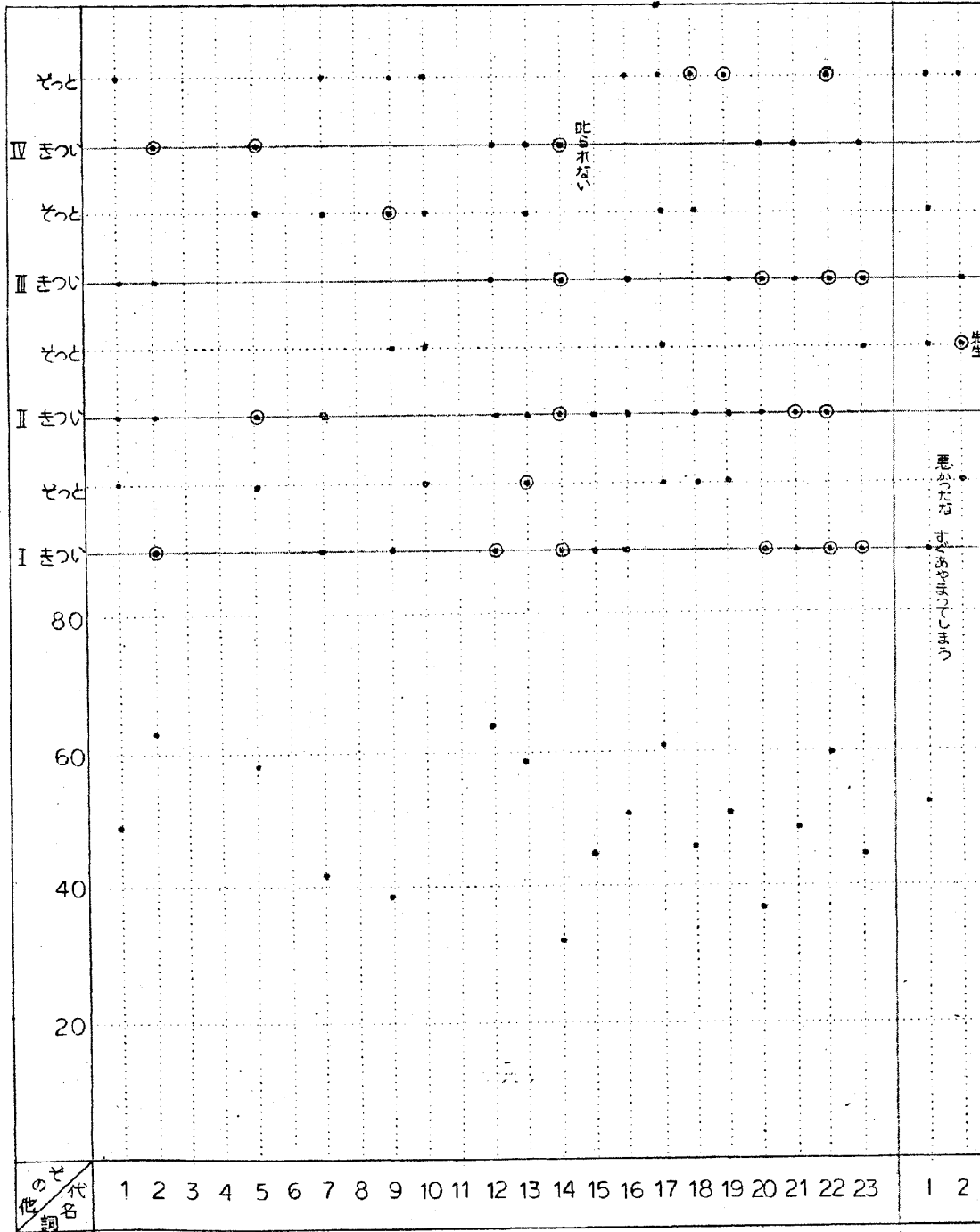
児童の知能や性格に応じた叱り方

叱り方とその効果(実例)

終結 これからの問題

◎私が叱られるのはこんな時です。

誰かとけんかをした時、大てい、きつく叱られますか、それともそつと注意されますか、その時あなたわ早まつたな悪かつたなどと反省しますか、といつた調子の調査で物をやりつばなしの時、勉強しなかつた時、テストの点が悪かつた時、という四つの種を行つたところ、次頁の表のように現われてきた。



合計

黒 黒丸

男 女 男 女  
9 12 3 1  
21 4

8 6 3 0  
14 3

7 7 1 0  
14 1

9 12 4 0  
21 4

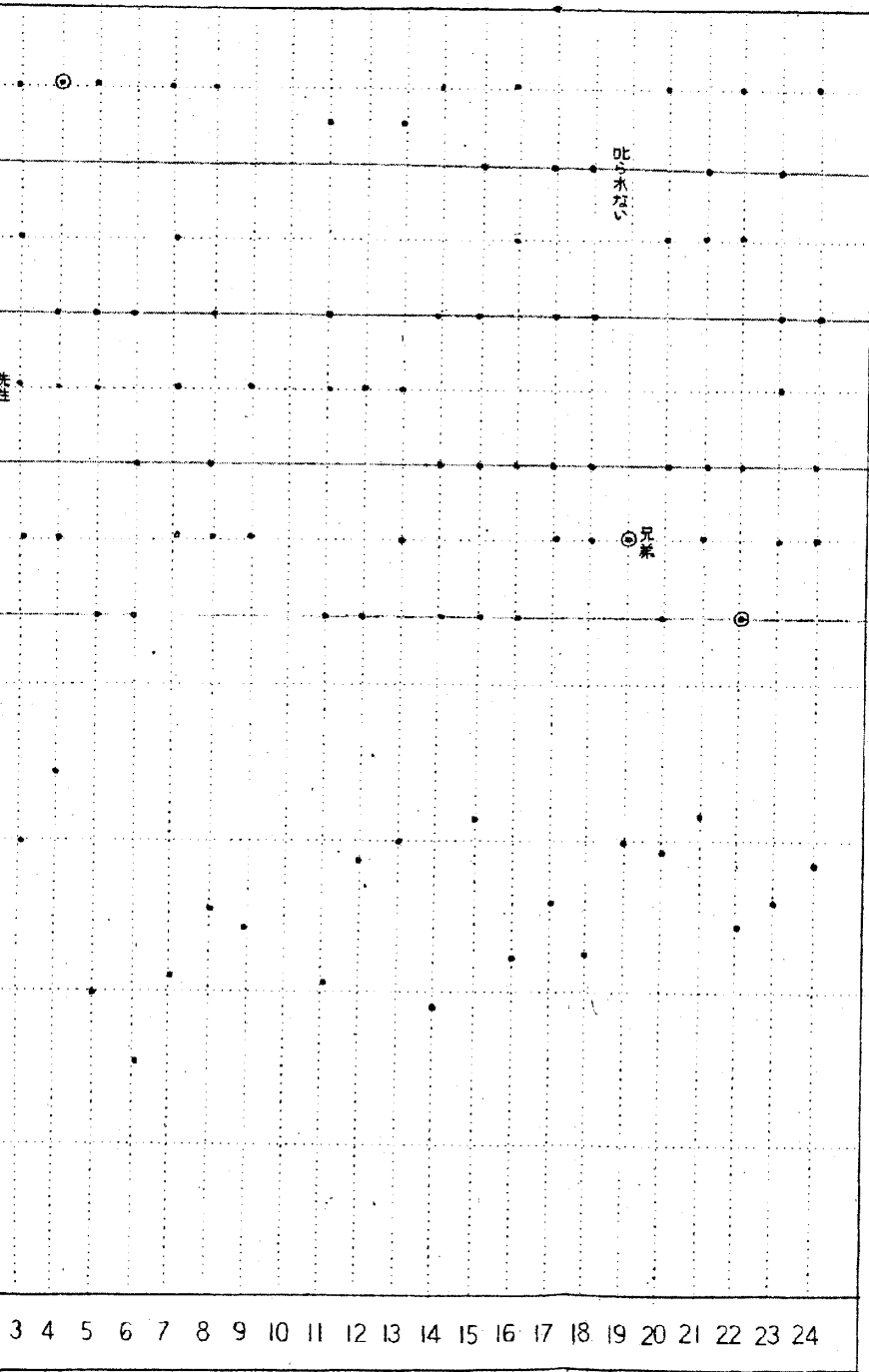
4 11 0 1  
15 1

14 11 4 0  
25 4

7 14 1 1  
21 2

11 10 6 1  
21 7

( 黒丸は反省 )



3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

叱られ方の度合による反応

数字は度数の高い人の数

叱責の度	I		II		III		III		計		I けんか II 仕事をやりっぱなし III 勉強しなかつた時 III テストの点が悪かつた時
	きつ	そつ	きつ	そつ	きつ	そつ	きつ	そつ	きつ	そつ	
男	11	7	14	4	9	7	8	9	42	27	
	10	14	11	11	12	7	6	12	39	44	
計	21	21	25	15	21	14	14	21	81	71	
不満を持つ	⑥	1	4	0	4	1	3	3	17	5	
	1	1	0	1	0	0	0	1	1	3	
計	7	2	4	1	4	1	3	4	18	8	

きつく叱られて不満を持つのは男児に多い  
 女兒は神経が細いのかそつと云われた方に数が増えている

男児は、はつきり短かく叱られた方がよい(後の表参)と云っているがきつく叱られることの多  
 男児は不満を持つことも相当にある。女兒は叱られる事にその時々納得している故かそのかげを  
 そめている。

こんなところから、叱り方、注意の仕方は性別にもよるべきであると考えさせられる。

② 不満を持つ場合

叱られていながら不満を持つようでは効果は半減どころか零に等しい。どんな所に不満の種がある  
 かさぐつてみる。

殆んど教師に対しては出ていない。否、出さないのかもしれない。しかしそれらしい顔も見られ  
 ないようである。児童が観念しているせいだろうか。

家庭ではどのような兄弟げんかを例にとつてみる。弟妹のいる児17人のうち、悪くもないのに  
 が多い故に叱られるが8人をしめている。又その逆に姉姉が自分の為めに叱られているのをみて、  
 の兄弟で損だと思つているのが20人中4人、悪かつたなと思つているのが5人、助つたもうけ  
 と思ふのが6人である。

よくたしかめもしないで当り散らすのがとてもいやだと零す者もある。

道徳的知識と心情が分化される初期に入つていることの現われだろうか。

③ 叱り変じて喜びとなる場合

④ Iの場合(作文から)

おはとおとい茶わんを割つた。いつものように妹とふざけつこがけんかになつちやつたんである。  
 わん棚へぶつかわつたらガチャガチャ音がした。母ちゃんは「こらーけんかするからだ、悪い子だ」  
 となつた。

父ちゃんがだまつてにらめている。おつかねえなと思ひながら妹の面倒をみてやつていたら、母

ちやんが来て、いい子だね、とほめてくれた。母ちやんはやっぱり僕のことをおもってくれているんだな。

母ちやんはすきだ。さつぱりおこつてくれるんだもの、後でいやな気は残ってない。ドキドキもしない。母ちやんは僕がかわいいんだ。

◎ 叱られて身に泌みていやだと感ずる時

叱られての効果

丸は反省している

内 容	受責の種別	叱かられて、いやだったと身にしみて感じている者			叱られて さつぱりした者		
		男	女	計	男	女	計
立 た さ れ る	男	⑧		1			
	女						
は た か れ る	男				24	1	2
	女						
外 へ 出 さ れ る	男	20		1			
	女	⑬		1			
そ つ と い わ れ る	男	⑭ 9	29	3	5		1
	女	1	3	13	3		
ど な ら れ る	男	18	⑯ 30	16	4	20	16
	女	25	2		2		
押 入 れ	男	28		1			
	女	19		1			
	計			17			5
	性別	番	号	数	番	号	数

ちいさい時から今までに、あなたはどんな風に叱られた時、あゝいやだな、と思いますか。又、叱られてしまつて後すがすがしい気分になつた時は、どんな風に叱られた時ですか。の問に対して集つたのが上の表である。男児は叱られる種が起きた時、短時間で叱られるのをきりあげてもらつた方がよく覚えている。又そつといわれたのは寝ざめがわるく、特に24児の場合など何かちびちびしてしまつたようである。女兒は体罰を受けることを大変きらつている。

ではどんな叱り方が児童に後味悪いものにするのか(但し数字は児童記号)

- 2 9 先生 忘れ物が多すぎる
- 1 8 母 上その人がいるのに平気で僕の悪いところをいう
- 2 4 姉 いたずらをしてはいけない、とにらまれた
- 2 9 母 食事時の読書

30 母 あの子は馬鹿だつて笑われていいんか、かあちやんが笑われるんだぞ

女

- 1 兄 たばこと灰皿をまちがえて持つて行つた時
- 2 母 手袋をどこへ忘れてきたかを思い出せない時
- 3 母 妹をかまつて泣かす時のこらみ
- 8 先生 三年の時おしやべりをして二十人位廊下へ立たされた
- 13 母 一時間たつてなさい
- 25 祖父 柿をとるんじやないよ

あとでさつぱりした叱り方

- 1 兄と思いきりけんかをした時
- 16 茶わんをわつて母にどなられたが、かくしているうちの胸のときどきがなおつた
- 24 お兄さんにげんこでなぐられる時、いつまでおこつてない
- 5 母 十月ごろ水鉄ぼうしてためといわれたのが、流感の児が多かつたせいだと知つてすぐ云うことをきいてよかつたと思つた
- 0 ここで、どの児童もいつちする考え方をもっているのが叱られる時はわかりやすくなるだけ短かく叱つてほしい。事があつた時、自分も反省している事が治んどだから、長く叱られたりずっと前のことを持ちだされたりすると、悪いと思つてもうるさいと思つてしまう。悪いと思つている時はしつこくきかないでほしい

◎ 叱られやしないかと思つていること

- 2 風呂に入らないこと
  - 7 だまつてペンをかつてしまつたのがみつかると大へん
  - 15 机の上がきちんとしてないのでいつもいわれそう、学校へ来ても心配
  - 19 風呂のたきつけをさぼつている
  - 21 そろばんをなくしてしまつたこと
  - 28 僕がやぶいたのではないのに本が何か所がやぶれている
- 女兒はこんな点では余り口を聞かない、自分で悪いと知つている上手く批判したい

叱る人による事後反省の大小

よく父兄は、先生の云うことだらよくきくから憎まれ役をかつてくれという、本当にそうであらうか、とアンケートしたものが次の表である。

但しこの場合叱られる絶対数が男の方がはるかに多いので男女それぞれの傾向をみることは出来るがそれを比較出来ない。

男 女 計  
 検査総数 18 22 40  
 不 能 6 2 8

叱る人によつて叱られた後考えることが違うか

	性別	父		母		兄		姉		教師		祖父		祖母		他人		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
この次からなおそう	性別	6	2	7	7		3	3		7	3	1					2	
	計	⑧		⑭		⑤		③		⑩		①				②		
いけないことだから止めよう	性別	8	6	11	3		2	2	2				9	1	8			4
	計	⑭		⑭		②		④				⑨		⑧		④		
おこられるから止めよう	性別	10	4	7	5	2	3	3			2				1			②
	計	⑭		⑫		⑤		③		②				①		2		
叱かられたつて大したことはない	性別	7			1	1		3										1
	計	⑦		①		①		③								①		

男児には普段自分に甘い人を見て幾分茶化す者も有るようである。

児童らは世の契約（有型無型を含めて）に反する行為をした時、反射的に、おこられる、という他動的な働きを眼に浮べているようである。だからといつて人に迷惑のかかることを無視し、叱られなければならないでもするといつたことは毛頭もつていないらしい。唯幼い時からの積み重ねでこういつた表現しか出来ないのであろう。この表でしつかり読んでおきたいのは自分の否を知っていないが、素直でない一番下に記した児らである、後にふれるが児童の性格と注意する方法との間に難がある。

### 知能の低い児の失敗事例

K男の場合とY・Kの場合

K 男

Y・K

知 能 偏 差 値  
 性 格

三步あゆんでよく忘れる児、だめだ！ と何度か投げたくなつたさじを持ちなおして現在に至るが、K男は暴力の大将、Y・Kは時を構わず放浪する。兩人共私によくなつきまわらぬ舌で「へんせえ」と用もないのにじつと私の側にいるK男、くるくる私をまわつて2、3分よそをふらふら歩いては、側に来るY・K共、何度同じ事をいいきかせてもその度に素直に「わかつたよ先生、もうしないよ」と云つてくれる。毎日話し合いをする時間を設けた。二カ月、三カ月経つても一向になおらない、他の児に迷惑のかからないように毎日それで頭をなやましていた。大した考える力のない子とは知つていても、これだけなついてくれれば解つてくれることも遠い先きではなかつたらしく考へていた。K男は盗みを2、3度した（1度は確かでないので数変るが） 知能の低い児が

盗みを覚えては大きな問題だと、三中の川田先生を訪ねた。

### 同 児 の 成 功 事 例

手段を選んでないわけではないから体にうつたえてごらん、と教えて頂いたのでK男の好きなカ  
ルピスを用意して事を改めた。つねりの度合で盗みはこんなにも悪いことなんだと出来るだけ短か  
い言葉でゆつくり話した。それからハリボン一本でも落ちていれば持つて来るようになった。

またY・Kは四分の一坪より一寸と大きめに白い太い枠を底に書きそこを出ることは許さない、  
といいきかせた。許さないという具体案は考えていなかったがこういう児には白線で充分だったの  
だ。授業中一步も出ないで絵をかき、いたずらに飽きてもじつとしている。これも一種の体罰であ  
らう。知能の低い児には印象づける為に体罰も必要である。

### 性 格 と 叱 り 方

この場合の性格は心的構造の類型からではなくて、性向の面からを見たい。

#### 内 向 性 の 例

##### G・K子の場合とK・Kの場合

大変だんまりやで四年になってから始めて口をきいた子である。他児と余り遊ばない。方法がわか  
っても宿題をしてこない場合がある。どうしてやつてこないかを問うと、だまって反省しているらし  
い。きつい言葉で「ふざけているなら、とつととお帰らなさい」には、後三時間もの間じつと下を  
向いていた。K・K型の場合（外向性で同じ程度の知能）はそれで出来ても出来なくも一応やつて  
くるようになった。G・Kはそつとどうしてやらないの。には重い口をゆがめて忘れたと零す。後  
2、3日は好果が続く。K・Kはそつと云われても効果がないというのではないが、お家で放課后  
やつて持つてきなさい等のようにきつい方が効めは長持ちする。

#### 他より叱責された後の取り扱い成功例

##### Y 子 の 場 合

年齢 十才 性格 幾分内向的

偏差的

夏休み直後、本児は近所の一年上の遊び友達にさそわれて、手当り次第小さな盗みに快感を感じ  
ている。

九月二十四日、Mおもちゃ屋でキュービー1こ、約100米離れたHの店でキュービー用のハン  
ドバックを友達のとついで2こ、手鏡2こを盗みパンツの中へかくした。M店の女主人の勢い  
におされて警察へ出されてしまった。M店の女主人の悪態雑言は聞くにしのびない程だった。Y子  
は友と口もきけない程私と同様驚いたり悲しんだりまだ後悔する余裕もない。警察の補導係の方に



よく説得して頂いているのを見て、新聞に書かれてしまったらと余計な心配をしていた軽はずみさを、警察の親切、補導のたくみさに敬服すると同時に恥じる。これで力づけられた私は、Y子の真の美しさ、やさしさをしつかり自分に把握させてやりたいその為にはこの事について決して叱責しない事を心に誓った。何となればこの事柄は余りにも大きな叱責される充分な経験であるから。

それから後、毎日一対一の反省会を持つた。始めは口が重く、目ばかりキョロキョロしていたが二週間経つた頃には自由に物を云い自分の否を進んで打ち明け、休み中の夢のような思い出を、ポツリポツリ話し始めた。信頼感とも云える近親感からか、うちとけたものを感じたので話しに前後があるときつくとがめ、正しいことをほりかえす事も可能になった。休み中の話を一部始終書きとめて、二学期末に読んで聞かせた。そのあらまは、盗品の種類と、自分の間違っていたことの悔い等であるが、小さい館一こまでで約20件とか(八月と九月始め)しかしその後のY子は非常に明るく成長しつつある。

## 終

## 結

拙い経験の中で、叱られてその内容を把握し受け入れる態度、及び叱る表現方法の私的幾種類かは、今まであげた通りである。

結局、年齢、男女、性格、家庭環境を加味した上、出来るだけ話し合いを主にした方が結果がよい(精薄児は除く)。こんな事から必要あつて罰を与える場合も精薄児以外は、顔色で不賛成の意を示す場合、云つてきかす場合、好きなものを与えぬ場合、身体の束縛をする場合とか、そのおこしたよくない行為の軽重によつて、こんな程度でとどめておきたいものである。

罰を与えることは或る程度是定しても、それが荒らげた叱り方になると筋の一環を望むのが無理である。が児童は広い視野にたつて叱るならば納得をしながら受け入れてくれる。

そこで私は、遂い怒りを感じる時は言語をていねいにしようと思つて心掛けるようにしている。なんとすれば「だめだ」より「いけないことですね」の方が、強くなりやすい調子も治めやすく、怒りが伝わる率も軽減される事が確かであると認識した故。

また、児童の道徳的判断を上手に植えつけて行けば叱る(本来の)というやり方は中以上の知能の児童には必要なくなるのではなからうか。私達の判断(一応成人としての)は、と角事後のことになりやすいので反省的である場合が多い。事前の懸念な判断と認識があれば叱る事を除くことが出来る(尤も同じ行為をして、同じ注意を受けても、個々によつて感受性の度合と事後への響きは異なることを考慮して)

児童の道徳的判断及びその感情の成立には周囲の者、殊に成人の批判が重要な意味を持つている。そこに於て批判の一貫がその発達の為にかかすことの出来ない条件となることを深く知り、行為への批判(ある場合は注意となり顔色となり叱責となる)を怠つてはならない責務を感じる。